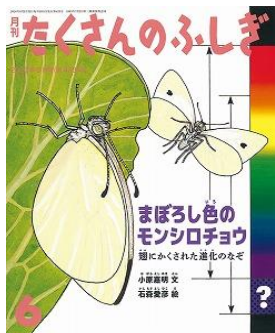


【緑地を楽しむ本】

『まぼろし色のモンシロチョウ 翅にかくされた進化のなぞ』

小原嘉明 文、石森愛彦 絵

たくさんのふしぎ 2020年6月号 福音館書店



モンシロチョウは北海道から沖縄まで全国に住んでいる、ごく普通のチョウです。冬以外どの季節にも発生するので、目にする機会も多いです。また、世界中にいるようです。このようなチョウが

進化の過程で翅の色を変えているということです。

日本のモンシロチョウは人間の目ではオス、メスの区別が付きません。でも、チョウは瞬く

間にオスとメスの区別ができるのです。これは人間には見えない紫外線をメスは発しているからです。作者は紫外線を含むメスの翅の色を「まぼろし色」と呼びました。このまぼろし色が日本の中でも違いがあり、イギリスではほとんどないのです。では、イギリスでは、オスはメスをどのようにして見分けているのでしょうか？

モンシロチョウは身近なのにワクワクさせてくれる生き物なのです。

(齋藤好子)